

昭和五十九年度一般会計予算是、地方をとりまく極めて厳しい財政環境下において、中・長期的に財政の健全性の確保を図りつつ、二十一世紀を展望した活力ある町づくりを促進するため、住民生活優先の積極予算を編成しました。

五十九年度は、部落内道路の整備を中心とする生活環境整備事業、水田利用再編対策に関連した農業振興事業、教育振興事業を基本施策としながら、商工業振興事業、観光振興事業等についても積極的に推進してまいります。

また、社会福祉協議会の充実強化を図り、より一層きめ細かな福祉施策を推進する他、保健センターを設置し、町民の健康

は、地方をとりまく極めて厳しい財政環境下において、中・長期的に財政の健全性の確保を図りつつ、二十一世紀を展望した活力ある町づくりを促進するため、住民生活優先の積極予算を編成しました。

五十九年度は、しかしながら、地方財政計画等から推察すると、その財源確保にかなりの困難が予想されるところであります。歳入の主体をなす町税・地方交付税を始めとし、各財源について現段階で見込める可能な限りの額を積極計上しました。

増進を伸展させる所存であります。

更に、地域連帯意識の高揚を図りながら「明るく住み良いふる里」づくりのため町民会館を拠点とした、心のふれあう町民交流事業を推進すべく所要の措置を講じました。



光町長
馬場幸太郎

昭和五十九年度予算成立

二十八億八千三十三万円

限られた財源を 効率的に配分

政水準の向上に努力いたしてまいります。



心のふれあう町民交流事業の拠点となる

町民会館

財源の効率的運用を図り、行財需要を的確にとらえ、限られた行財

主な事業計画 (単位: 万円)

事業名	総事業費	説明
道路整備事業	18,182	舗装工事 9路線 4,085m 改良工事 2路線 145m 用地取得 5路線 1,370m ² 直営舗装工事 6,600m
農業振興事業	4,694	地域農政推進対策事業 土地改良事業 水田利用再編対策事業 地域野菜流通整備事業 畜産環境保全対策事業
道路台帳整備事業	3,500	道路台帳整備事業
学校施設整備事業	1,476	グランド整備工事 テニス打ちつけボード工事
コミュニティ活動事業	1,117	コミュニティ活動育成事業 文化活動運営事業 コミュニティ助成事業 町民号運行事業
消防施設整備事業	1,040	専用積載車2台、小型動力ポンプ2台、機庫工事2ヶ所、消化栓負担金等
老人福祉事業	621	独居老人、火災報知機設置、ゲートボール場工事、等
保健センター建設事業	670	保健センター建設工事
町制30周年記念式典事業	500	町制30周年記念式典行事
合計	31,800	

○59年度事業の詳細は広報5月号～7月号で紹介します。